

平成24年度 財務の概要

福岡北九州高速道路公社

目 次

1. 会計処理の特徴	1
2. 償還準備金積立方式のしくみ	2
3. 収支状況	3
4. 営業中道路の収支状況	4
5. 財務状況	6
6. 償還準備金の積立状況	8
7. 料金収入・通行台数・供用延長の推移	9
8. 供用実績	10
9. 長期借入金の残高状況	12
10. 償還計画と実績の対比	13
11. キャッシュフロー計算書	14

1. 会計処理の特徴

公社では、財政状態や経営成績を明らかにするため、一般に公正妥当と認められている企業会計原則に準じた会計処理を行っています。

＜根拠法令等＞ 地方道路公社法、同法施行規則、福岡北九州高速道路公社会計規程、同規程実施細則

有料道路制度の会計の特徴は

- 有料道路事業は、借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により定められた期間内に償還し、償還完了後は無料開放する制度です。
- 毎年度の『収支差』（収入と費用の差）は全て投下資金（借入金）の償還に充当します。

借入金の償還状況を適切に把握するために

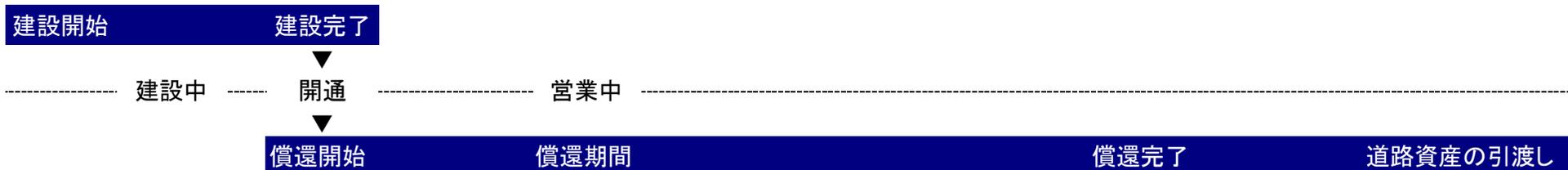
- 福岡北九州高速道路公社は、利益を配当する義務がなく、法人税法の公共法人であるため、法人税を課せられたりすることがなく、収支差の全てを償還に充当します。
- 新たな設備投資資金を積み立てるという企業会計上一般に採用されている減価償却費を計上する方式ではなく、むしろ、無料開放を実現するとの観点から、借入金の償還状況を会計処理において適切に把握することが重要です。

償還準備金積立方式を採用

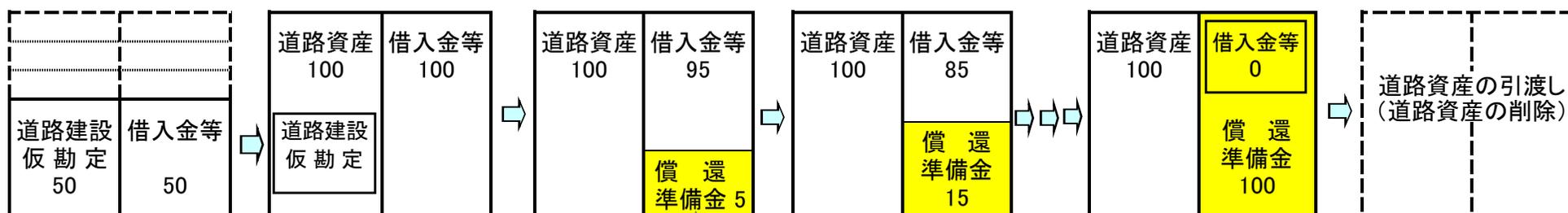
- 借入金の償還に充てられる各年度の『収支差』を『償還準備金繰入』として費用計上し、その累計額を『償還準備金』として負債に計上する方式を採用しています。
- 道路の資産を形成するのに要した費用を積み上げた『道路資産』と借入金の返済に充てる『償還準備金』を対比することにより、償還状況が明確に把握できます。

2. 償還準備金積立方式のしくみ

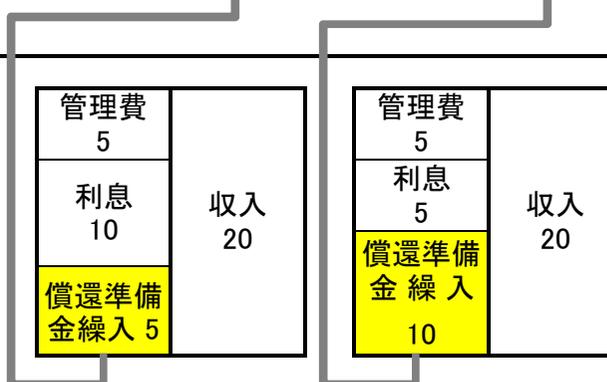
公社の貸借対照表と損益計算書にみる償還準備金積立方式のしくみ



■ 貸借対照表



■ 損益計算書



3. 収支状況

平成24事業年度損益計算書（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）

（単位：百万円）

費用の部				収益の部			
勘定科目	H24年度	H23年度	増減額	勘定科目	H24年度	H23年度	増減額
	A	B	A-B		A	B	A-B
経常費用	53,481	51,990	1,491	経常収益	53,513	52,017	1,496
事業資産管理費	10,007	9,398	609	業務収入	53,246	51,835	1,411
福岡高速道路管理費	6,178	5,708	470	道路料金収入	52,615	51,191	1,424
北九州高速道路管理費	3,728	3,591	137	(福岡高速道路)	36,975	35,706	1,269
福岡駐車場管理費	61	62	△ 1	(北九州高速道路)	15,640	15,485	155
北九州駐車場管理費	41	36	5	ETCマイルージ還元負担金収入	208	234	△ 26
一般管理費	1,202	1,214	△ 12	(福岡高速道路)	187	210	△ 23
一般管理費	979	970	9	(北九州高速道路)	21	23	△ 2
その他	223	244	△ 21	駐車場料金収入	212	208	4
引当金等繰入	32,250	30,778	1,472	(福岡高速道路)	123	121	2
道路事業損失補填引当金繰入	2,505	2,438	67	(北九州高速道路)	89	87	2
(福岡高速道路)	1,761	1,700	61	ETCマイルージ引当金戻入	57	78	△ 21
(北九州高速道路)	745	737	8	(福岡高速道路)	43	58	△ 15
償還準備金繰入	29,744	28,340	1,404	(北九州高速道路)	14	20	△ 6
(福岡高速道路)	22,676	21,553	1,123	その他	154	125	29
(北九州高速道路)	7,068	6,787	281	受託業務収入	156	114	42
受託業務費	156	114	42	負担金事業受入金	15	17	△ 2
負担金事業費	15	17	△ 2	業務外収益	97	51	46
業務外費用	9,852	10,469	△ 617	受取利息	12	14	△ 2
債券利息	6,416	6,474	△ 58	その他	85	37	48
借入金利息	3,219	3,771	△ 552	特別利益	10,148	0	10,148
その他	217	224	△ 7	道路事業損失補てん引当金取崩益	10,148	0	10,148
特別損失	10,148	0	10,148	福岡高速道路事業損失補てん引当金取崩益	10,148	0	10,148
償還準備金繰入損	10,148	0	10,148				
福岡高速償還準備金繰入損	10,148	0	10,148				
当期利益金	32	27	5				
合 計	63,661	52,017	11,644	合 計	63,661	52,017	11,644

（注）各費目において四捨五入しているため、合計において合致しない場合があります。

4. 営業中道路の収支状況

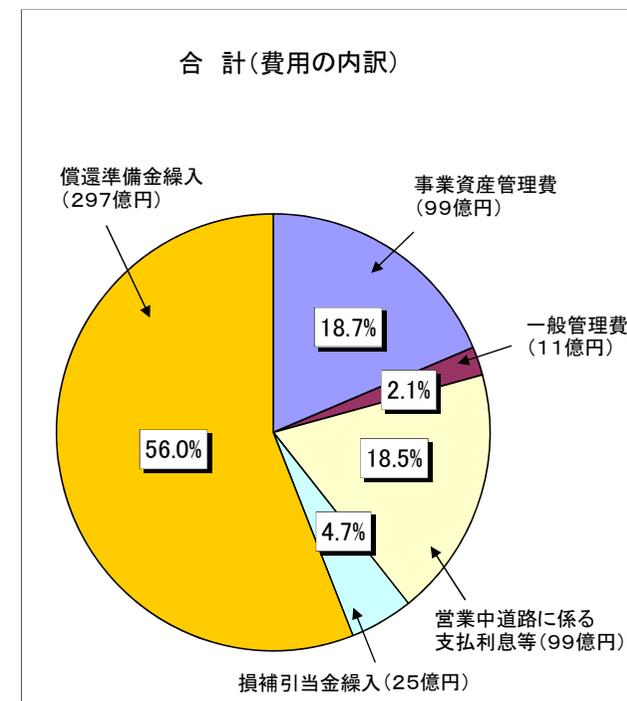
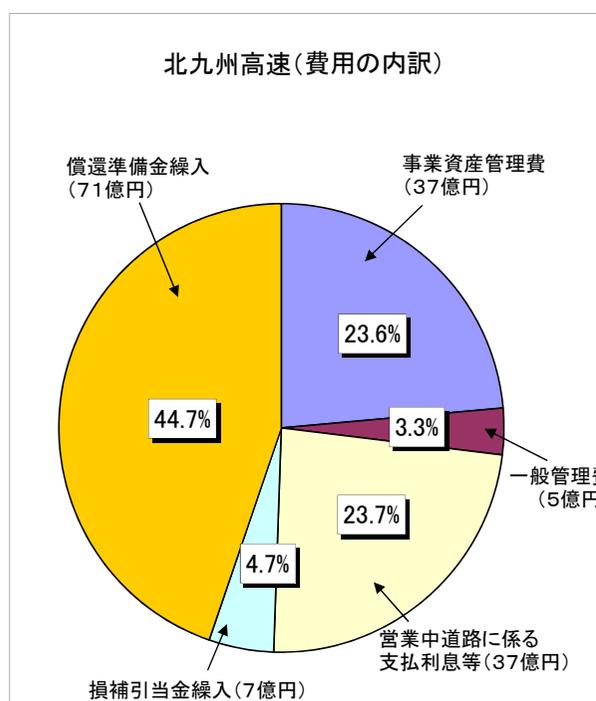
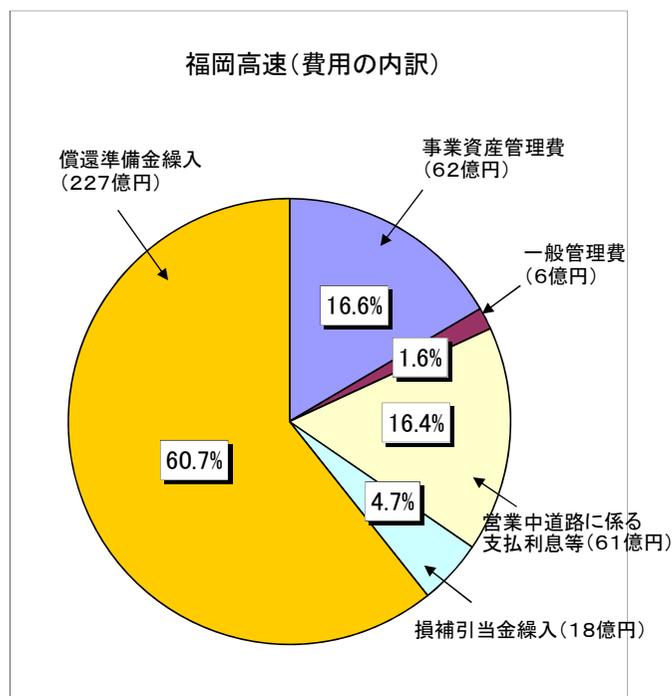
(単位:百万円)

	福岡高速道路								北九州高速道路								合計							
	収益 A	営業中道路に係る費用					償還準備金繰入額 A-B	収支率 B/A× 100円	収益 A	営業中道路に係る費用					償還準備金繰入額 A-B	収支率 B/A× 100円	収益 A	営業中道路に係る費用					償還準備金繰入額 A-B	収支率 B/A× 100円
		事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計 B				事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計 B				事業 資産 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計 B		
H24	37,326	6,178	594	6,117	1,761	14,649	22,676	39.2円	15,802	3,728	527	3,734	745	8,734	7,068	55.3円	53,128	9,906	1,121	9,851	2,505	23,384	29,744	44.0円
H23	36,079	5,708	582	6,535	1,700	14,526	21,553	40.3円	15,597	3,591	548	3,934	737	8,810	6,787	56.5円	51,676	9,299	1,130	10,469	2,438	23,336	28,340	45.2円

・「償還準備金繰入」は、営業中道路から生じる毎期の収支差を高速道路の建設・改良に投下した借入金の返済に充てるもので償還準備金に繰り入れられるもの。

・「収支率」は、100円の収入を得るのにどのくらいの費用が必要であったかを示すもの。

(注)各費目において四捨五入しているため、合計において合致しない場合があります。



【道路部門】

(1) 福岡高速道路

- ① 経常収益は、373億2,600万円(対前年比12億4,700万円の増)となりました。これは、環状線の供用効果による交通量の増加(対前年度比6,222台/日増)により料金収入が増加したことによるものです。
- ② 経常費用(償還準備金繰入を除く)は、146億4,900万円(対前年比1億2,300万円の増)となりました。これは、有利子負債額の減少及び残高平均金利の低下により支払利息が減少したものの、老朽化予防保全対策等により管理費が増加したことによるものです。
- ③ 道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、226億7,600万円(対前年比11億2,300万円の増)となり、道路の建設に投下した借入金の返済に充当しました。また、前年度までに積み立てた道路事業損失補てん引当金101億6,700万円のうち、101億4,800万円を取り崩し、償還準備金へ繰り入れました。

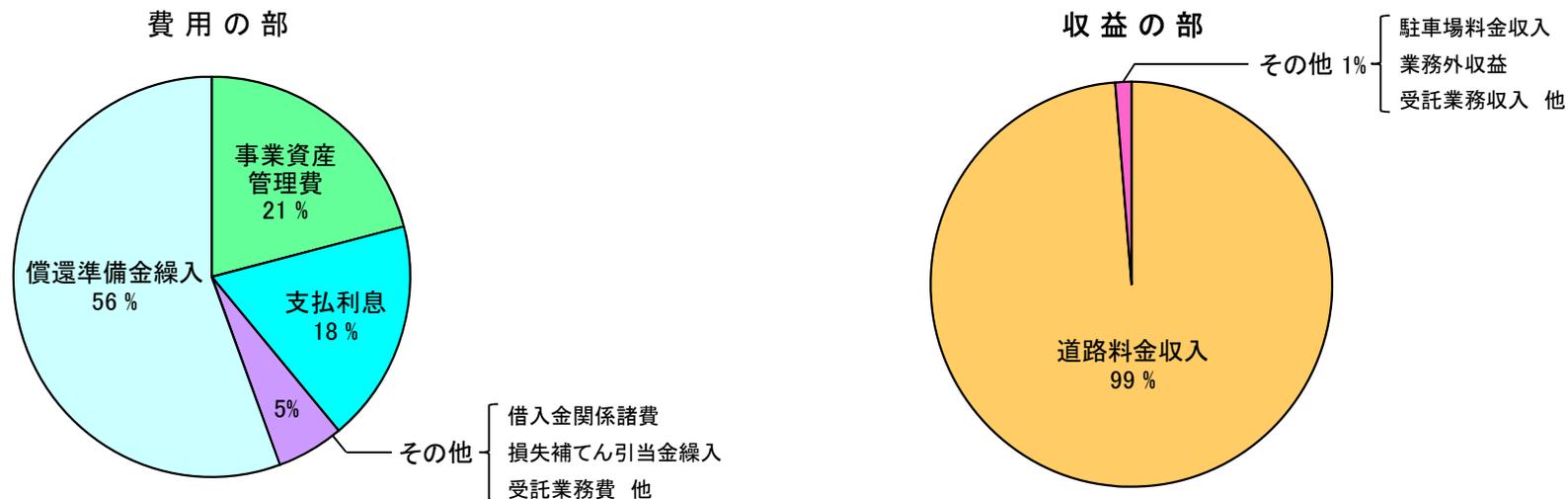
(2) 北九州高速道路

- ① 経常収益は、158億200万円(対前年比2億500万円の増)となりました。これは、黒崎バイパスとの接続等に伴う交通量の増加(対前年度比393台/日増)及び料金単価の増により料金収入が増加したことによるものです。
- ② 経常費用(償還準備金繰入を除く)は、87億3,400万円(対前年比7,600万円の減)となりました。これは、補修費等の管理費が増加したものの、有利子負債残高の減少及び残高平均金利の低下により支払利息が減少したことによるものです。
- ③ 道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、70億6,800万円(対前年比2億8,100万円の増)となり、道路の建設に投下した借入金の返済に充当しました。

【駐車場部門】

- ① 当期利益は3,200万円(対前年比500万円の増)となりました。

☆損益計算書の内訳(道路部門・駐車場部門の合計)



※上図の内訳には、特別損失(償還準備金繰入損)、特別利益(道路事業損失補てん引当金取崩益)は含まれていません。

5. 財務状況

平成24事業年度貸借対照表

(平成25年3月31日現在)

(単位:百万円)

資 産 の 部				負 債 及 び 資 本 の 部			
勘 定 科 目	H24年度	H23年度	増減額	勘 定 科 目	H24年度	H23年度	増減額
	A	B	A-B		A	B	A-B
流動資産	4,650	5,043	△ 393	流動負債	74,535	70,012	4,523
固定資産	1,246,686	1,244,430	2,256	固定負債	659,948	695,406	△ 35,458
事業資産	1,244,339	1,234,150	10,189	福岡北九州高速道路債券	350,711	349,711	1,000
福岡高速道路	869,615	859,572	10,043	長期借入金	301,750	337,936	△ 36,186
北九州高速道路	374,724	374,578	146	退職給与引当金	459	676	△ 217
事業資産建設仮勘定	0	7,849	△ 7,849	ETCマイレージ引当金	138	195	△ 57
福岡高速道路	0	7,849	△ 7,849	資産見返交付金	6,889	6,889	0
北九州高速道路	0	0	0	特別法上の引当金等	295,648	263,399	32,249
有形固定資産	2,081	2,183	△ 102	道路事業損失補填引当金	19,301	26,944	△ 7,643
その他	266	248	18	福岡高速道路	1,780	10,167	△ 8,387
繰延資産	917	1,067	△ 150	北九州高速道路	17,521	16,776	745
				償還準備金	276,347	236,455	39,892
				福岡高速道路	250,426	217,602	32,824
				北九州高速道路	25,921	18,853	7,068
				(負債合計)	1,030,131	1,028,817	1,314
				基本金	221,298	220,932	366
				剰余金	823	792	31
				(資本合計)	222,121	221,723	398
資 産 合 計	1,252,252	1,250,541	1,711	負 債・資 本 合 計	1,252,252	1,250,541	1,711

(注)各費目において四捨五入しているため、合計において合致しない場合があります。

(資産の状況)

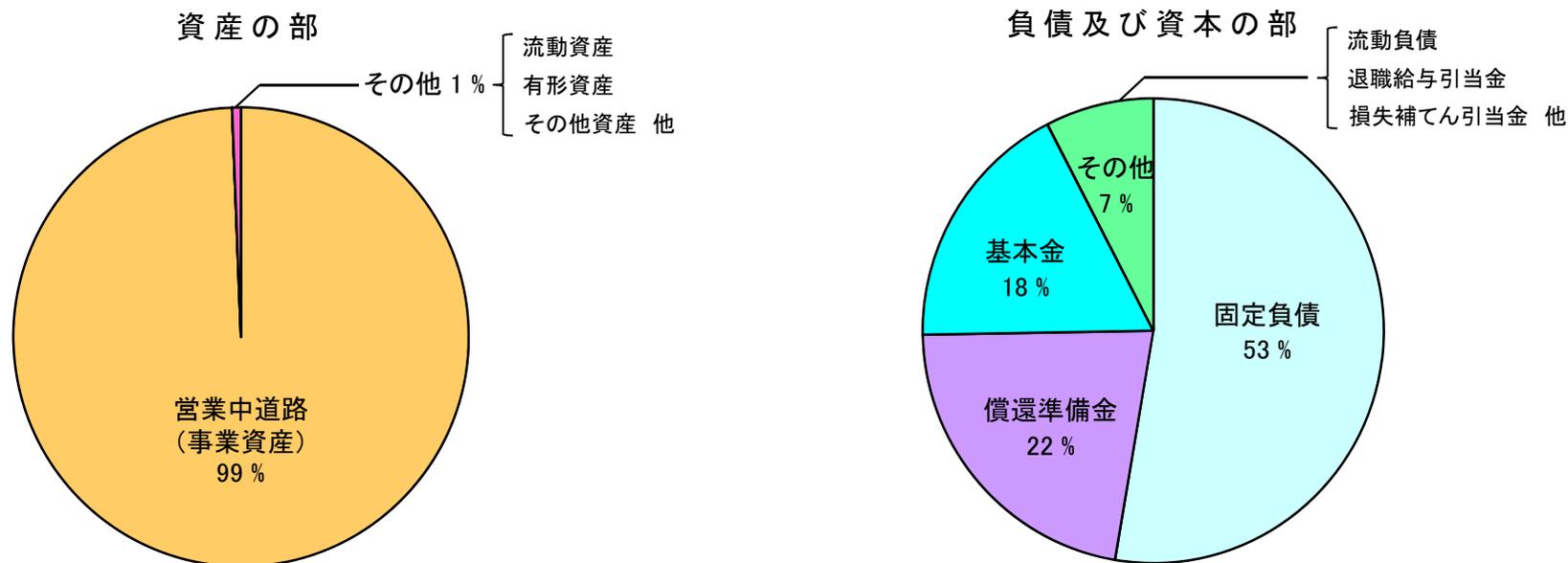
資産の総額は1兆2,522億5,200万円となっております。このうち営業中の道路資産は1兆2,443億3,900万円となっており、資産全体の約99%を占めております。

(負債及び資本の状況)

負債及び資本の総額は、1兆2,522億5,200万円となっております。主なものは、道路債券などの借入金が7,225億2,600万円(流動負債計上分700億6,400万円と固定負債計上分6,524億6,200万円の合計額)、営業中道路の建設・改良に投下した借入金の返済に充てた額(償還準備金)が2,763億4,700万円(福岡高速2,504億2,600万円、北九州高速259億2,100万円)、地方公共団体からの出資金が2,212億9,800万円となっております。

(注)各費目において四捨五入しているため、合計において合致しない場合があります。

☆貸借対照表の内訳



6. 償還準備金の積立状況

【福岡高速道路】

(単位:百万円)

	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A-B)	償還率 (B/A) × 100
H24	867,302	250,426	616,876	28.9%
H23	857,259	217,602	639,657	25.4%

【北九州高速道路】

(単位:百万円)

	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A-B)	償還率 (B/A) × 100
H24	370,148	25,921	344,227	7.0%
H23	370,002	18,853	351,149	5.1%

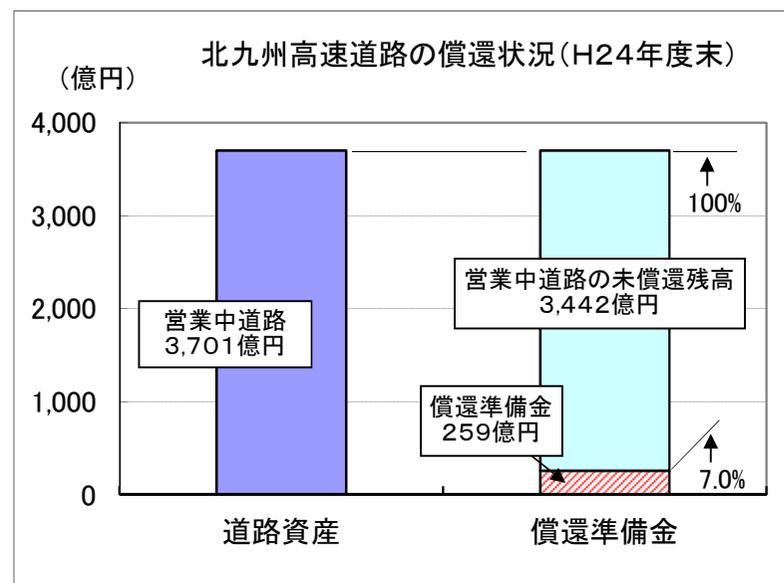
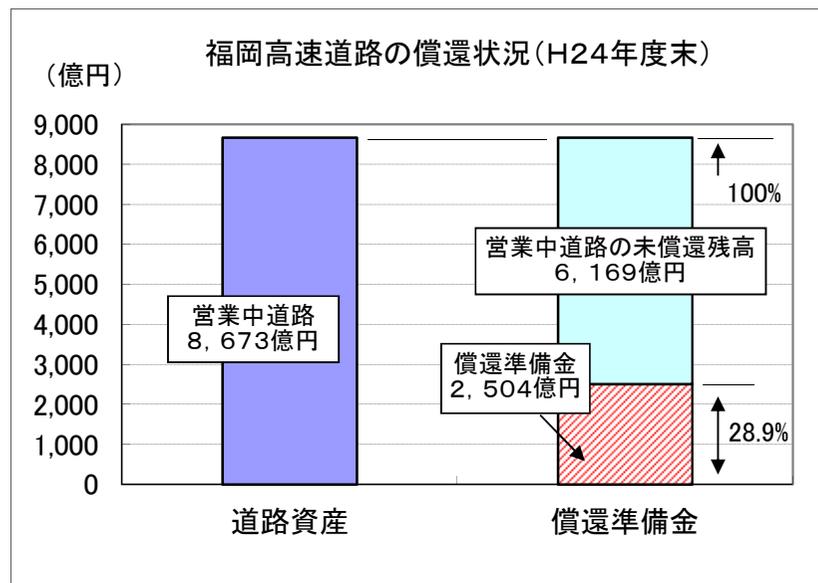
「営業中道路(償還対象額)」とは、営業中道路の建設に投下した額の合計額(営業中道路の資産総額)から、償還を要しない資産見返交付金(補助金)を控除した額。

「償還準備金」とは、当該年度末までの償還準備金繰入額の累計額。

「未償還残高」とは、営業中道路について今後償還準備金を積み立てて、返済をしていくことになる金額。

(単位:百万円)

	営業中道路の 資産総額	資産見返 交付金	営業中道路 (償還対象額)	備 考
福岡高速道路	869,615	2,313	867,302	
北九州高速道路	374,724	4,576	370,148	



7. 料金収入・通行台数・供用延長の推移（全体）

平成24年度

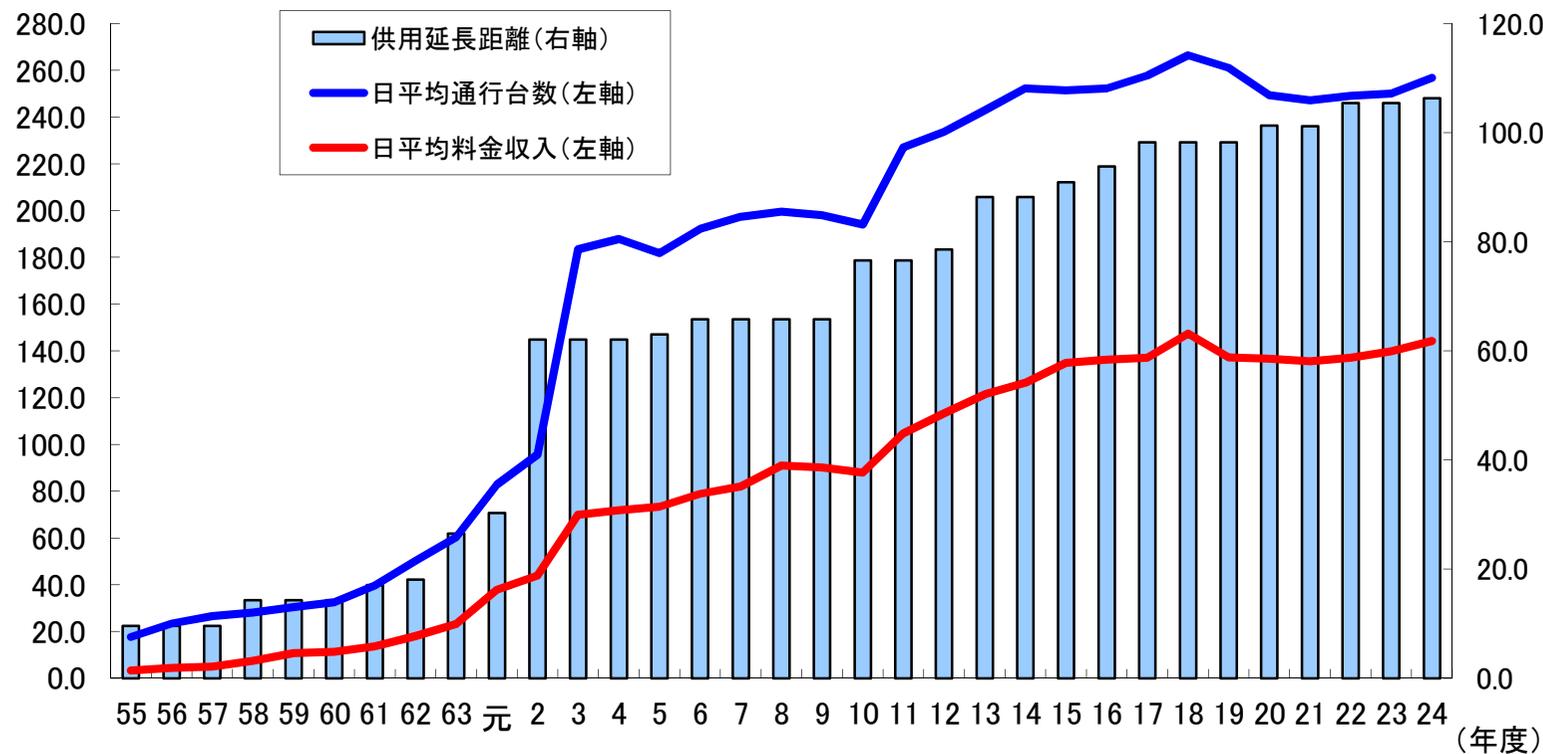
料金収入 **526億円**

日平均料金収入 **1.44億円**

日平均通行台数 **25.7万台**

日平均料金収入・通行台数

(百万円・千台)



供用延長距離

(km)

供用延長距離

平成25年3月末現在
106.3km

料 金

福岡高速

普通車 600円

大型車1, 200円

北九州高速

普通車 500円

大型車1, 000円

8. 供用実績

〔福岡高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)	
		区間	累計		大型車	普通車
一次供用	S55. 10. 20	5.9	5.9	香椎～東浜	400	200
	S57. 3. 27	—	5.9	貝塚入口		
	S58. 6. 30	—	5.9	貝塚出口		
二次供用	S58. 10. 6	1.5	7.4	東浜～築港	700	350
三次供用	S61. 4. 23	0.8	8.2	千鳥橋 J C T～呉服町		
四次供用	S62. 11. 6	1.0	9.2	築港～天神北	800	400
五次供用	S63. 10. 31	2.1	11.3	天神北～西公園		
				千鳥橋 J C T (渡り線)		
六次供用	H 1. 3. 4	5.2	16.5	西公園～百道	1,000	500
				呉服町～榎田		
				豊 J C T～空港通		
	H 1. 10. 1	—	16.5	料金改定	1,030	510
	H 2. 12. 25	—	16.5	名島本線料金所拡幅		
	H 3. 3. 21	—	16.5	東浜西出口		
H 4. 4. 23	—	16.5	名島出入口			
H 4. 7. 1	—	16.5	東浜西入口			
七次供用	H 5. 4. 2	0.9	17.4	香椎東～香椎	1,030	510
八次供用	H 6. 4. 4	2.8	20.2	榎田～月隈北		
	H 9. 6. 1	—	20.2	料金改定 (回数通行券料金)		
九次供用	H11. 3. 27	10.8	31.0	月隈～水城	1,100	550
				貝塚 J C T～粕屋		
	H12. 3. 28	—	31.0	料金改定・貝塚入口	1,100	550
十次供用	H12. 11. 21	0.5	31.5	貝塚 J C T (渡り線)		
十一次供用	H13. 10. 13	5.3	36.8	百道～福重		
十二次供用	H14. 3. 10	1.9	38.7	粕屋～福岡 I C	1,200	600
	H15. 5. 1	—	38.7	料金改定		
十三次供用	H15. 5. 1	2.7	41.4	月隈 J C T～板付		
十四次供用	H16. 6. 27	2.9	44.3	西月隈出入口・板付～野多目		
十五次供用	H18. 3. 26	4.4	48.7	野多目～堤		
十六次供用	H20. 4. 19	3.1	51.8	堤～野芥	1,200	600
十七次供用	H23. 2. 26	4.1	55.9	野芥～福重		
十八次供用	H24. 7. 21	0.9	56.8	福重 J C T (渡り線)		
備考	堤西および野芥西料金所において自動料金収受機運用					

(注) 料金改定日は、一次供用を除き供用年月日の翌日です。但し、料金改定のみの場合は同日です。

〔北九州高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)	
		区間	累計		大型車	普通車
一次供用	S55. 10. 20	3. 7	3. 7	日明～篠崎北	300	150
二次供用	S58. 10. 6	3. 2	6. 9	篠崎北～若園 東港出入口	700	350
	S59. 4. 21	—	6. 9	篠崎南出口		
三次供用	S61. 12. 2	2. 0	8. 9	若園～横代	700	350
				篠崎南入口		
四次供用	S63. 12. 17	1. 1	10. 0	愛宕 J C T～下到津	720	360
五次供用	H 1. 8. 30	2. 8	12. 8	日明～戸畑		
六次供用	H 2. 3. 31	1. 0	13. 8	戸畑～若戸	720	360
				東港 J C T～小倉駅北		
				西港出口		
				東港出入口廃止		
七次供用	H 3. 3. 31	31. 8	45. 6	春日～馬場山 一部区間料金 (4号線)	300	150
					400	200
					500	250
					600	300
					720	360
	H 5. 4. 1	—	45. 6	料金改定	720	360
	H 7. 9. 30	—	45. 6	山路出入口	900	450
	H 9. 6. 1	—	45. 6	料金改定 (回数通行券料金)		
八次供用	H12. 7. 26	1. 5	47. 1	長野～横代	1,000	500
	H12. 11. 1	—	47. 1	料金改定		
九次供用	H13. 7. 2	2. 4	49. 5	枝光出入口～大谷出入口 大谷 J C T	1,000	500
十次供用	H18. 2. 26	—	49. 5	小倉東IC接続		
十一次供用	H22. 12. 15	—	49. 5	東田出入口		
備 考	九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛出口を新設 (H17. 3. 31供用) 九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛入口を新設 (H18. 3. 4供用) 篠崎北及び大里北料金所において自動料金収受機運用					

(注) 料金改定日は、一次、七次供用を除き供用年月日の翌日です。但し、料金改定のみの場合は同日です。

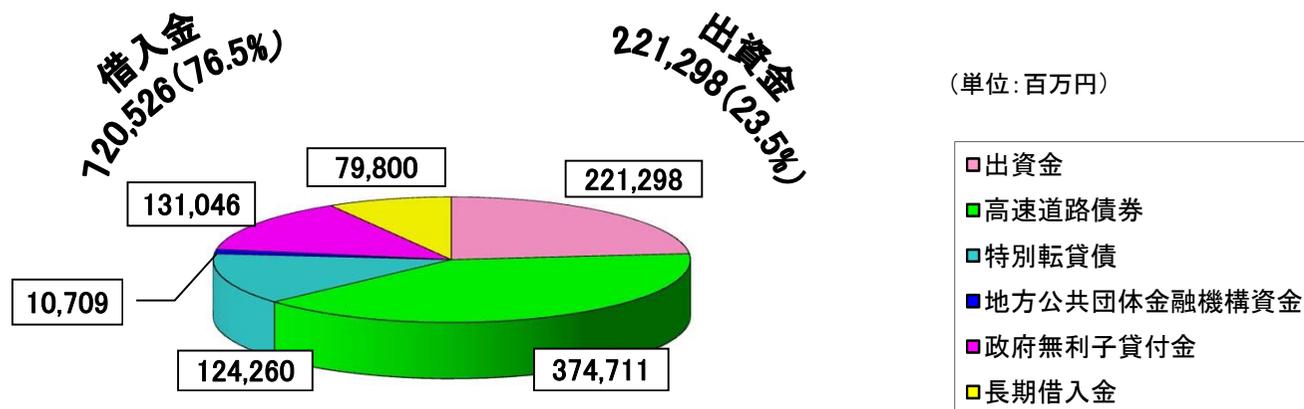
9. 長期借入金の残高状況

平成24年度末借入金残高

(単位:百万円)

	全 体			路線別内訳						
				福岡高速			北九州高速			
	H24年度	H23年度	増減額	H24年度	H23年度	増減額	H24年度	H23年度	増減額	
	A	B	A-B	A	B	A-B	A	B	A-B	
設立団体出資金	221,298	220,932	366	163,802	163,436	366	57,496	57,496	0	
借入金	高速道路債券	374,711	370,511	4,200	216,220	215,216	1,004	158,491	155,295	3,196
	特別転貸債	124,260	137,338	△ 13,078	98,498	107,505	△ 9,007	25,761	29,833	△ 4,072
	地方公共団体金融機構資金	10,709	11,632	△ 923	8,627	9,375	△ 748	2,081	2,257	△ 176
	政府無利子貸付金	131,046	146,104	△ 15,058	103,142	114,476	△ 11,334	27,905	31,628	△ 3,723
	長期借入金	79,800	86,800	△ 7,000	24,500	28,000	△ 3,500	55,300	58,800	△ 3,500
	計	720,526	752,385	△ 31,859	450,987	474,573	△ 23,586	269,538	277,812	△ 8,274
合計	941,823	973,317	△ 31,493	614,789	638,009	△ 23,220	327,034	335,308	△ 8,274	

(注)各項目において四捨五入しているため、合計において合致しない場合があります。



10. 償還計画と実績の対比

【平成24年度決算】

(単位:億円)

道路名		収入(a)	費用(b)				償還準備金繰入(a-b)	償還準備金	事業資産(交付金除く)	償還率(%)
			管理費(うち消費税)	損失補填	金利	合計				
合 計	決算	531	110 (20)	25	99	234	297	2,763	12,374	22%
	計画	538	133 (20)	25	110	269	270	2,730	12,383	22%
福岡高速	決算	373	68 (14)	18	61	146	227	2,504	8,673	29%
	計画	358	82 (14)	17	65	164	194	2,433	8,675	28%
北九州高速	決算	158	43 (6)	7	37	87	71	259	3,701	7%
	計画	180	51 (7)	9	45	105	76	297	3,708	8%

※四捨五入の関係で計が合わないことがある。

●償還計画の対比方法

償還計画は、福岡は料金認可(平成24年7月)、北九州は料金認可(平成20年10月)の値を使用しました。実績(平成24年度決算)と対比するため償還計画を下記のとおり変換しました。

- ・収入は、ETCマイレージ還元負担金、ETCマイレージ引当金戻入を加算しました。
- ・管理費は償還計画表上の管理費から道路改良費を減じ、ETCマイレージ還元負担金、ETCマイレージ引当金戻入、減価償却費、退職給与引当金繰入を加算しました。
- ・償還準備金繰入は、収入から管理費、金利、損失補填引当金繰入を差引きました。
- ・償還準備金は、計画作成時の実績に各年度の償還準備金繰入を加算しました。
- ・事業資産は、計画作成時の実績から交付金を除き、その後に供用した道路の建設費の累計を加算するとともに、各年度の管理費のうち道路改良費を加算しました。
- ・償還率は、償還準備金を事業資産から交付金を差引いたもので除しました。

11. 平成23・24事業年度福岡北九州高速道路公社キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	H23事業 年度 A	H24事業 年度 B	増減額 B - A
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
当期償還準備金繰入	283.4	398.9	115.5
当期利益	0.3	0.3	0.0
減価償却費	2.2	2.1	△ 0.1
債券発行諸費等償却	1.9	1.8	△ 0.1
退職給与引当金等の増減額	△ 2.7	△ 1.6	1.1
ETCマイレージ引当金の増減額	△ 0.8	△ 0.6	0.2
損失補てん引当金の増減額	24.4	△ 76.4	△ 100.8
債券利息	64.7	64.2	△ 0.6
借入金利息	37.7	32.2	△ 5.5
未収金(投資活動、財務活動を除く)の増減額	△ 2.3	△ 2.5	△ 0.2
未払金(投資活動、財務活動を除く)の増減額	6.2	0.9	△ 5.3
小計	415.0	419.5	4.4
利息の受取額	0.1	0.1	0.0
債券利息等の支払額	△ 63.8	△ 63.6	0.2
借入金利息の支払額	△ 38.0	△ 32.6	5.4
営業活動によるキャッシュ・フロー	313.4	323.4	10.0
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
事業資産の取得による支出	△ 5.1	△ 21.5	△ 16.4
建設仮勘定の取得による支出	△ 25.1	△ 11.5	13.6
固定資産の取得による支出	△ 0.2	△ 0.7	△ 0.5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 30.4	△ 33.7	△ 3.3
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入による収入	0.0	20.0	20.0
短期借入金の返済による支出	△ 5.8	0.0	5.8
長期借入による収入	115.9	78.6	△ 37.3
長期借入金の返済による支出	△ 434.8	△ 439.4	△ 4.5
債券の発行による収入	302.9	249.1	△ 53.8
債券の償還による支出	△ 261.0	△ 208.0	53.0
出資金の受入による収入	6.8	3.7	△ 3.1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 276.1	△ 296.1	△ 19.9
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0.0	0.0	0.0
V 現金及び現金同等物の増加額	6.9	△ 6.4	△ 13.3
VI 現金及び現金同等物期首残高	1.3	8.2	6.9
VII 現金及び現金同等物期末残高	8.2	1.8	△ 6.4

※各項目で四捨五入しているため、合計において合致しない場合があります。

(注記) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金・預金	8.2 億円	1.8 億円	△ 6.4 億円
現金及び現金同等物	8.2 億円	1.8 億円	△ 6.4 億円

○損失補填引当金

損失補填引当金は、個々の道路で将来事情の不可測性等により償還計画満了時に借入金等が残った場合に備えて、その補填に充てるため料金収入の一部を積み立てているもので、道路整備特別措置法に定められています。

すなわち損失補填金は、決算では費用として扱っていますが、将来のリスクに備え、会社の経営の安定を図る内部保留金としての性格を持っており、その額は借入金の返済余裕を表しています。

損失補填金の残高は平成24年度末で193億円となっています。